

海外留学報告書

標記について、下記のとおり報告します。

記

○基本情報

氏 名		所 属	法 学 部 法律 学科 3 年
学籍番号		留学期間	令和 5 年 8 月 ~ 令和 6 年 5 月
留学先 国・地域	アメリカ・ミズーリ州	留学先(学校)	ノーズウェスト・ミズーリ州立大学

○報告内容

1. 留学前準備(留学に参加した理由、留学の目的・目標 等) ※必須(300字以上)
留学に参加した理由はいくつかあります。一つ目は、アメリカに対して自由の国だというアメリカンドリームを持っていた。そのため、日本人が持つ固定概念や偏見を理由に感じる息苦しさや肩身の狭さは日本独自のものだと考えていました。そのため、YesとNoがはっきりしている国を経験してみたいと考えました。二つ目に、留学への憧れです。「留学に行きたい」という中学生の頃からの憧れで短期留学がある高校を選びました。しかし、中学三年生から高校三年生までのコロナのパンデミックによりその憧れはただの憧れで終わりました。大学生になってからコロナも収まり、大学一年生の夏にはオーストラリアへ短期留学をしました。そして、大学2年生の夏からは、アメリカに長期の留学をすることができました。また、アメリカを選んだ理由としては、ダンスを10年以上続けていることもあり、その国に行き、色々な人種の人とダンスをしたいと思いました。留学の目的は、英語力の向上だけではなく、自分の中身も成長して帰ってくることになりました。
2. 留学中に心がけたこと、努力したこと(授業、日常生活、留学中の活動 等) ※必須(300字以上)
留学中は「無理をしないこと」を心がけていました。家族と離れて一人で生活するのは、決して簡単なことではありませんでした。留学して数ヶ月は、電話をするとかえって寂しさが募って辛くなるのではないかと思い、見栄を張って家族との通話を避けていました。しかし、そんなふうに無理をしてアメリカで過ごすこと自体に限界を感じ、少しでも体調が悪く感じたときは授業を休み、心身の調子を整えるようにしました。両親には毎月一回日本食を頼んで送ってもらいました。また、前期には人間関係でトラブルがあり、冬休みには日本に一時帰国したいと両親に相談しました。留学期間の二学期を振り返って、一番頑張ったと思うのはダンスクラブへの参加です。前期のチームメイトの中でアジア人は私一人でした。当時は英語のリスニング力も十分ではなく、かなり苦労しました。毎日のように振り付け担当の人にメッセージで質問していました。それでもなかなか馴染めず、辞めようかと悩んだこともありましたが、しかしスポットライトを浴びてステージで踊ることは、私の10年間の趣味であり特技でもあったため、続ける決心をしました。二学期には、みんなの話している内容も理解できるようになり、声をかけてくれる子も増えました。そして本番の日には、留学中にできた友達がダンスクラブの発表を見に来てくれました。その時の達成感は、今でも忘れられない思い出です。
3. 留学の成果(留学の目的・目標の達成具合、新たに発見したこと、感じたこと 等) ※必須(300字以上)
私は、見栄を張ってしまうという悪い癖が留学前までありました。誰かに助けを求めずに一人で乗り越えようとしてしまう悪い癖でした。しかし、言語の壁や交通手段の無さもあり、人に助けを求めることができるようになりました。授業で出される課題やプレゼンテーションでのスピーチもアメリカ人の友達に添削してもらいました。また授業始まって早々、言語の壁があることを教授に自ら伝えに行きました。アメリカでは色々な外見や人種の人がいいたため、個性を出しやすい環境だと感じました。しかし、人種というものが存在するために、アジア人として扱われることの心細さも感じました。アジア人女性として一人で旅行する怖さや、アジア人は魅力がないと考えている人がいることを目の当たりにしました。日本は日本人が多数のため今までは感じるができなかった感覚でした。家族と離れて過ごしたことで、家族の大切さを改めて感じました。
4. 留学の成果の活用(留学で学んだことを今後、どのように活かしたいか 等) ※必須(300字以上)
日本の魅力を世界に発信したいという想いが、私の中で大きくなりました。日本出身と伝えるとアニメの話題に触れてきます。このように多くの方が「アニメ」や「ゲーム」を通して日本に興味を持ちますが、それだけではありません。日本には、長い歴史の中で受け継がれてきた伝統文化、春夏秋冬がはっきりと感じられる美しい四季の風景、そして見た目も美しく、健康的で季節感に溢れた食文化など、世界に誇れるものがたくさんあります。私はこうした日本の魅力を、もっと多くの人に知ってもらいたい、留学を通して考えるようになりました。この日本の魅力を知って欲しいという軸で就職活動をしたいと考えるようになりました。今後も、アメリカだけではなく、色々な国の生活や文化を肌で触れ続けていきたいです。

氏 名		所 属	法 学 部 法律 学科 3 年
学籍番号		留学期間	令和 5 年 8 月 ~ 令和 6 年 5 月
留学先 国・地域	アメリカ・ミズーリ州	留学先(学校)	ノースウェスト・ミズーリ州立大学

5. 留学中の画像(お気に入りのスナップ) ※必須(画像1枚以上)

※Excelの「挿入」メニューから「画像」をクリックし、挿入する画像を選択・挿入してください。



写真の説明① マイアミに春休みを利用していきました。綺麗な海とチルな環境がとても気に入りました。



写真の説明② 二学期ともダンスクラブに参加しました。色々な人に顔を覚えてもらえてよかったです。

写真の説明③

写真の説明④

6. 外国語での記述欄(上記1～4の項目について要約し、留学地域の言語で記述してください) ※必須(字数・語数は問わない)

First, I truly appreciate my father. He didn't say no when I told him that I wanted to study abroad. I can't explain how grateful I am to him.

Second, I really struggled during the second semester because I had a big fight with my best friends. We realized that one of them had been acting like a snake between me and the others.

Also, my club activity was really tough because my English wasn't very good. I always had to ask someone to help me get through everything.

In this way, the second semester was very challenging for me.

But at the same time, it was also a very memorable one. I went to many places with my friends and really enjoyed it.

When I had to say goodbye to them, I couldn't stop crying.

From this experience, I learned that I can do anything if I try hard.

7. その他(自由記述)